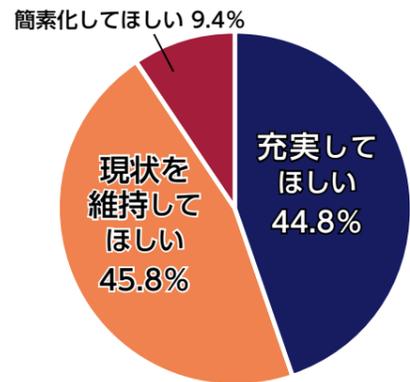
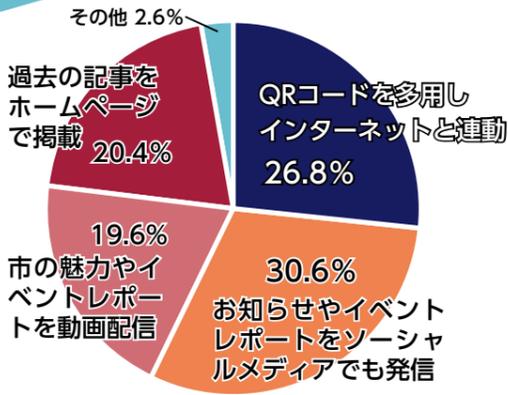


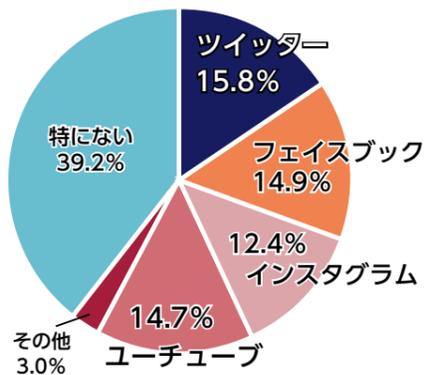
インターネット配信での市の情報発信をどのように進めてほしいですか



インターネット配信で充実してほしい内容は何ですか



市の情報をどのソーシャルメディア(SNS)から得たいですか



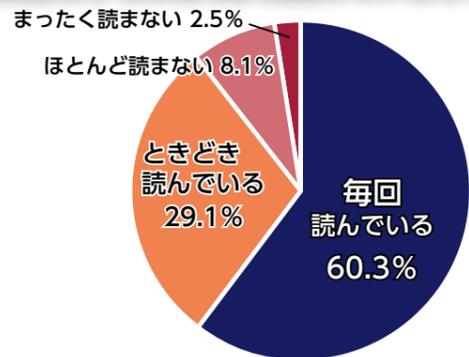
※4 SNS(ソーシャルネットワークサービス)…インターネットを介して人間関係を構築できるスマートフォン/パソコン用のウェブサービスの総称。

皆さんからは、こんな意見が

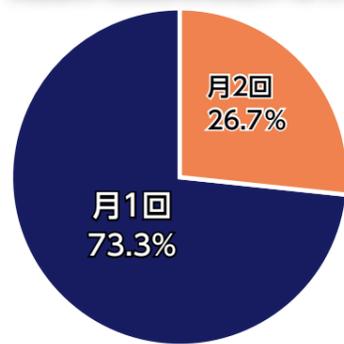
昨年6月に行った、無作為に抽出した市民2,000人に対するアンケート結果の一部を紹介します。  
※アンケートの文言は要約しています。



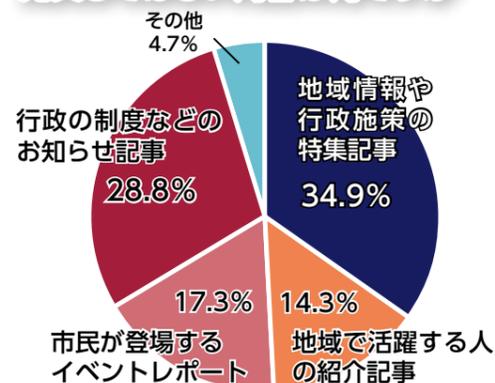
「広報なすしおばら」を読んでいますか



「広報なすしおばら」の発行回数は何回が適当だと思いますか



「広報なすしおばら」における充実してほしい内容は何ですか



子育ての情報が少なく、増やしてほしい

若者向けの情報をSNSなどで発信してみても?

発行頻度は減らしたほうがいい

紙ベースの発行はやはり必要

～みんなが知りたい情報をみんなに伝える情報に～

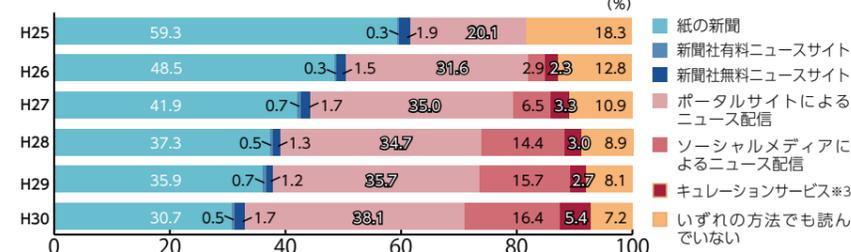
市からの情報は、皆さんにどれだけ届いているのでしょうか。皆さんは知りたい情報をすぐに知ることができていますか。今回の特集では、「皆さんの知りたい情報」が「皆さんに伝わる情報」となるよう取り組んでいる「市の情報発信」にスポットを当てます。

▶問い合わせ  
☎シティプロモーション課 ☎0287(62)7109

市民ニーズに添えて情報を届けます

インターネットやソーシャルメディアの急速な普及などにより、メディア(媒体)の多様化が進んでいます。総務省の調査によると、最も利用しているニュースサービスとして平成25年に最多だった紙の新聞の利用率は平成30年には30・7%まで低下。代わりにヤフーニュースなどのポータルサイトは、平成30年には紙の新聞を抜いて38・1%と最も利用率となりました。また、ソーシャルメディアも利用率が飛躍的に伸びており、紙媒体への依存度が大きい本市の情報発信においても多様な広報メディアへの対応が求められています。県内の広報誌の発行状況を見ても、月2回発行をしているのは本市のみ。昨年6月に実施した市民アンケート調査では、回答者の7割以上が「月1回の発行が適当」と回答していました。また、自治会配布の負担軽減のため発行回数を減らしてほしいという声も多く寄せられています。

最も利用しているニュースサービスの変化 (%)



出典：平成30年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書(総務省)

※1 ソーシャルメディア…インターネット上で不特定多数の人がコミュニケーションを取ること、情報の共有や拡散が生まれる媒体のこと。  
※2 ポータルサイト…インターネットにアクセスするときの入り口となるウェブサイトのこと。  
※3 キュレーションサービス…ウェブ上のコンテンツをある特定のテーマや切り口で読みやすくまとめ、編集・共有・公開するサービスやウェブサイトの総称。

続きやイベント情報など、市に関するあらゆる情報は市のホームページへ掲載し、すぐにお知らせしたい情報はLINEやみるメールで配信して、情報量を減らすことなく皆さんに向けて発信します。幅広い世代に情報が届くよう、さまざまなメディアを効果的に活用しながら市の情報発信を強化していきます。